

〈国体に向け 実のなる木で緑化〉
健康広場で植樹事業!

平成24年に開催される、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会の競技会場となる揖斐川健康広場で、11月29日(日)「実のなる木を植えよう in 健康広場」と題し植樹が行われました。



▲ミナモ・ヤマリンと一緒に記念撮影

この取り組みは、ぎふ清流国体とぎふ清流大会の成功を祈念し、競技会場の緑化を図ると共に、平成22年6月に開催される全国豊かな海づくり大会に向けての応援事業として開催されました。

この日は、町体育協会、町ソフト

ボール協会、セフティネットいびがわなどからおおよそ100人が参加し、健康広場に隣接する山の斜面にアベマキ(ブナ科)の苗木が約200本植樹されました。今回の植栽地は、岩盤地質で樹木が育ちにくいことから、大きな穴を掘り炭や腐葉土と一緒に苗木が植えられました。



▲ヤマリンも植樹に参加

参加された皆さんは、自分の苗木がすくすくと成長することを願い丁寧に作業を行っていました。



▲熱心に作業が行われました

国体に向けて
ミナモダンスを練習!

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会のダンスや体操の普及に努めているインストラクターやミナモ(マスコットキャラクター)が、12月8日(火)におじま幼稚園に来園し、園児たちにおじま幼稚園の指導をされました。園児たちは、1時間ほど指導を受け、ミナモとダンスや体操を楽しんでいました。



▲熱心に練習するいびがわMAXの皆さん

また同日、小島公民館でよさこいグループのいびがわMAXの皆さんも同様に指導を受け、気持ちの良い汗を流していました。

広域農道と房島街道の交差点(房島2区)で、11月20日(金)、新しい信号機の点灯式が行われました。新しい信号機が点灯されると、やまと幼稚園の園児たちを先頭に、町議会議員の皆さんや房島地区の行政推進員の皆さんによる「渡り初め」が行われました。

この交差点は今まで交通事故が多く発生していましたが、この度新しい信号機が設置されたことで、この交差点を利用する人は、安全に通行できるようになりました。



▲渡り初めの様子

〈交差点の安全性高まる〉
房島地区新信号機点灯式!



▲記念品が手渡されました

11月5日(木)、かすがモリモリ村リフレッシュ館の入館者が100万人目を迎えました。玄関前では、100万人を祝してくすだま開きが行われました。

また、100万人目とその前後の方に、入浴回数券や伊吹春日乃湯の詰合せなどが、宗宮町長から記念品として手渡されました。

記念すべき100万人目は、山下春子さん(岐阜市)で、「このような幸運に恵まれたのは初めてです。大変うれしいです。」と話されました。

かすがモリモリ村リフレッシュ館
入館者100万人達成！



また、おばのキャラクターをデザインした店舗に掲げるタペストリーや、各種イベントのバザーなどでも使用するエプロンなどを製作されています。

20年ほど前から商工会女性部が活動しています！

地域活性化に向け、商工会女性部の皆さんが行なっている花いっぱい運動が、11月25日(水)に行われ、鉢植えの花を揖斐川健康広場や養老鉄道揖斐駅、揖斐川町役場などへ配布されました。

商工会女性部は、町の活性化に結び付けようと、233人の部員の皆さんで花いっぱい運動のほか、地域の素材を生かした特産品の開発を検討する特産品開発塾、交通安全街頭啓蒙活動など、様々な取り組みを行っています。



地域活性化に向け
商工会女性部が
活動しています！



▲皆さん、おめでとうございます

祝賀会開催

12月9日(水)、揖斐川町中央公民館で平成21年に叙勲・褒章を受章された6人の皆さんの祝賀会が開かれました。受章者4人が出席された祝賀会では、発起人を代表し宗宮町長が受章者の功績を紹介し、出席者がその功績を称えました。

平成21年に叙勲・褒章を受章されたのは次の皆さんです。

《瑞宝双光章》 佐名 武夫さん
《瑞宝双光章》 瀧瀬 忠彦さん
《瑞宝単光章》 松原 正義さん
《瑞宝単光章》 細野 徹さん
《瑞宝双光章》 溝下 和子さん
《黄綬褒章》 高橋 典男さん

叙勲褒章
祝賀会開催

11月26日(木)に、中津川市茄子川の東美濃ふれあいセンター歌舞伎ホールで、第17回県老人クラブ芸能大会が県内各地の老人クラブから17団体が参加され開催されました。

今回は、揖斐郡の老人クラブ連合会の代表として、揖斐川町の「麦の会」の皆さんが出演されました。演劇「歌でつづる麦と兵隊」を熱演された皆さんは、日頃の練習の成果を本番でも十分に発揮され、見事第一席として県知事賞を受賞されました。

麦の会代表の牧村昌弘さんは、「このような素晴らしい賞を頂くことができ、関係者一同歡喜しています。」と話されました。



▲演劇「歌でつづる麦と兵隊」の様子

岐阜県老人クラブ芸能大会で
麦の会が県知事賞を受賞！

岐阜県重要無形民俗文化財

春日の太鼓踊りが披露されました！

11月7日(土) 8日(日)の両日、寺本太鼓踊りが、寺本地区にある六社神社で披露されました。

寺本では、竹に色鮮やかな飾りをつけたバンバラを背負って左右に揺らし笛や鉦、唄を歌う人と共に踊ります。踊り手の中には、「バンバラ」を背負う小学生や小さな太鼓を抱える幼児たちの姿も見られました。

歴史と伝統のある春日の太鼓踊りは地域住民が一体となって受け継がれています。



▲寺本太鼓踊り保存会の皆さん



▲種本中瀬太鼓踊り保存会の皆さん

山々が鮮やかに色づきをみせた11月14日(土)と15日(日)の2日間、種本中瀬太鼓踊りが披露されました。

春日地域に伝わる5つの太鼓踊りは豊作祈願や感謝の踊りとされ、古くから地域の皆さんに親しまれています。

踊りが披露された種本六社神社や中郷熊野神社には、両日とも大勢の見物客が訪れていました。

この日は、中郷熊野神社で宮唄や花見といった歌や踊りが披露されました。

FC岐阜の選手も参加 ウォーキングで 町並みを散策！

11月21日(土)、秋の城台山公園と揖斐川の町並みウォーキングが行われおよそ300人が参加されました。

この催しは、町の自然と商店街の魅力を再発見することを目的として行われています。

スタート・ゴール会場は、揖斐川町中央公民館で、参加された皆さんは、全長およそ11キロメートルのコースを楽しみました。コース上に設けられた、いび茶や豚汁、甘酒などのサービスは、大変好評で、ゴール会場では、参加記念品抽選会やFC岐阜の選手との交流の場が設けられ、サインを求める多くの参加者で賑わいました。



▲FC岐阜の管選手と須崎選手のサイン会の様子

鮮やかな紅葉に彩られ もみじまつり開催！



▲多くの観光客で賑わいました

11月8日(日)に谷汲山門前駐車場で、谷汲もみじまつりが、11月15日(日)には、横蔵寺もみじまつりが開催され、多くの観光客で賑わいました。

谷汲もみじまつりは、谷汲踊保存会の勇壮な谷汲踊やよさこいソーランなどが行われました。

横蔵寺もみじまつりは、見ごろを迎えた紅葉を求め訪れた多くの観光客が、秋の彩りの中、大茶会やバザーなどを楽しんでいました。

会場内は一日中多くの人々で賑わい活気に満ちていました。